



『今をまもり 未来をつくる』

東京土木施工管理技士会 会長
飛島建設株式会社
代表取締役会長

伊藤 寛治

平成31年、2019年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素より技士会運営にひとかたならぬご理解とご協力を賜り、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

この一年を振り返りますと、近年、識者が唱える自然災害の頻発化、激甚化の指摘どおり、現実に、短い期間で、大規模災害が連続的に発生した年だったと言えます。それは年初からの北陸豪雪、7月の西日本集中豪雨、大阪府北部地震、台風21号、同24号、北海道胆振東部地震などなど、いずれも多くの国民に大きな損害と恐怖を与えました。たとえこの一つでも東京を襲ったならば、危惧されている首都直下型地震レベルとまではいかないまでも、首都圏に甚大な被害が出ることは間違いないでしょう。この一年で防災対策の重要性、緊急性が一層強く叫ばれるようになりました。日本国の防災インフラの整備は待ったなしの状況です。

加えて品質不正の問題も本年に入りまたぞろ顕在化しました。我々土木技術者は良質で災害に強い社会インフラ整備と首都東京の安全確保にその役割を期待されており、「協力・感動・貢献」を体現しながら、技術者としての知識を磨きつつ、良識を持って取り組んでいこうではありませんか。

そして今、生産性を向上させ、働き方改革を本格的に進めるときです。

ここ数年の矢継ぎ早に出されている建設業関連施策はまさにてんこ盛り状態です。社会保険加入、重層構造改善、建設キャリアアップ推進、長時間労働是正、週休二日実現、入職促進、施工の効率

化・自動化、ICT導入などなど。

これらの達成形は効率的で魅力的ではありますが、どれもこれもが積年の課題を含んでおり、実現化には業界全体の達成に向けた意思統一と大きなエネルギーが必要です。これらの取り組みを未消化なまま未来へ進むことはできません。まさに我々建設産業界が時代と社会から要求されていることなのです。

当技士会としては、今年度の事業計画でありました各種講習会や見学会の開催など皆様のご協力を得ながらこれまで順調に進めてまいりました。来る2月には恒例となりました業界研究フェスタも行う予定であり、新卒者獲得により力を入れてまいりたいと思っています。会員の皆様におかれましては今後ともご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

アジア初開催のラグビーワールドカップは9月に始まります。そしてオリンピック・パラリンピックの開会式までは500日余りとなるころまで来ており、そろそろテストイベントを迎える施設も出てくるでしょう。ワクワクします。それは建設人の真摯な姿を表現できる舞台でもあります。皆様がこれからも素晴らしい仕事をされることを心より願ってやみません。

今をまもり 未来をつくる！2020五輪を契機として一層魅力ある首都東京になることを目標に力を尽くしましょう。

最後になりますが、今年も会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



東京土木施工管理技士会 副会長
戸田建設株式会社
常務執行役員土木工事統轄部長

山田 裕之



東京土木施工管理技士会 副会長
清水建設株式会社
執行役員土木東京支店長

桑原 泰秀

時間外ゼロの現場を目指せ！

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東京オリンピックを控え、さらには大阪万博の開催が決定されました。建設業界は、より忙しさを増す予感があります。昨年は、西日本豪雨災害、北海道地震など、安全で安心な国土づくりの重要性を実感した一年でした。そして『働き方改革』が本格的に始動し、長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現に向けて、各社が取り組みをはじめています。

当技士会も、若手技術者の育成や土木技術を広く普及するため、講習会・現場見学会等を積極的に展開しているところです。

私は、現在ゼネコンの内勤管理職です。内勤の社員は、比較的時間外が少なく、週休二日も実現できます。一方、現場の実情は、4週8閉所を目標としながら、それを実現している現場は、ほとんどありません。工期の問題があります。大雨・台風等による想定外が発生します。現場の管理は、外業と内業を、効率よく進める必要があります。時間外の削減を目指すには、現状は多くの課題があります。

しかしながら、現場の仕事を、就業時間内に終了させて、『時間外ゼロ』にできないかと思えます。建設業の魅力化や、将来の技術者・技能者の確保のためにも、定められた時間、限られた人数で、現場を進める…、生産性向上の工夫・改善を継続的に進めなければならないと思えます。そして発注者、建設会社、協力会社は、それぞれの立場で、取り組むべき課題、解決すべき課題があります。一番大切なのは、『時間外ゼロの現場を目指す！』という強い想いを共有することだと思います。その気持ちを継続させ、一致団結して進めば、必ずや表題の実現も夢ではなくなります。

一番大切なのは、発注者・建設会社・協力会社の一体感と良好なコミュニケーションです。三者の連帯感を強めなければなりません。会員の皆様も、そのための積極的な活動をよろしくお願い申し上げます。

最後に、会員皆様のご発展とご健勝を心から祈念して、新年のご挨拶と致します。

建設業にとっての働き方改革

2019年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、7月の西日本を中心に大きな被害をもたらした記録的な豪雨や9月に非常に強い勢力を維持したまま上陸し、近畿地方を横断した台風21号。さらに、北海道全体にブラックアウトや大規模な土砂崩れを発生させた北海道胆振東部地震の発生など自然災害の威力の凄まじさを実感させられた1年でもありました。そのたびに全国で建設業に携わる人たちが文字通り“地域の守り手”として道路の啓開や応急復旧工事にあたるなど地域インフラの守り手として大きな役割を果たし、建設業の社会的な役割の大きさを国民の多くに実感していただく活躍を果たしたことも誇り高いことでした。

このような役割を果たしている建設業も全国的にみると4週4休で就業している人も多く、若手の離職や人手不足の常態化に喘いでいるのも現実です。昨年3月に建設業における働き方を改革するために、国交省より「建設業働き方改革加速化プログラム」が策定され、長時間労働是正、給与・社会保険、生産性向上に関わる取り組みが本格化されることになりました。建設業の働き方改革促進のためには国の支援や発注者の適正な工期の設定が必要であることは事実であるものの、我々建設業の側にも働き方改革へ向けた強い意志が必要だということは言うまでもありません。適正な工期に対する適正な工費、従来よりも生産性を高めるために設備や機械、手順に工夫を加えた省力化工法の積極的採用などにより生産性の向上に努めていくことも建設業として求められていると思えます。会員の皆さまには国民生活を支える建設業が安定的に成長していくために次代を背負う若い人たちにとって建設業が魅力ある業界となるよう働き方改革へ向けてご理解、ご協力と積極的な活動、取り組みをお願いいたします。

結びになりますが、本年における会員皆様のご健勝、ご発展を心から祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。